

# 農林水産商工委員会資料

(商工労働部所管分)

## ■ 報告事項

- ①中東情勢の変化等に係る商工事業者の状況について（商工政策課） ……………1
- ②企業立地計画の認定について（企業立地課） ……………3
- ③三菱マヒンドラ農機株式会社等の農業用機械事業からの撤退に係る ……………4  
取引事業者の事業継続支援について（中小企業課）
- ④三菱マヒンドラ農機株式会社等の農業用機械事業からの撤退に係る ……………5  
従業員の再就職支援について（雇用政策課）

令和8年5月19日  
商 工 労 働 部



## 中東情勢の変化等に係る商工事業者の状況について

中東情勢の緊迫化に伴う燃料油や石油製品の供給の不安定化による、県内事業者の事業活動への影響について報告する。

### 1. 県内事業者の状況について

#### (1) 島根県が設けている特別相談窓口

①相談件数 33件（令和8年5月11日現在）

#### ②業種別内訳

業種	件数
製造業	16
卸・小売業	10
建設業	4
飲食業	1
サービス業	1
不明	1
総計	33

※窓口設置機関（35機関40箇所）

- ・各商工会議所、各商工会、島根県商工会連合会（本所及び石見事務所）
- ・島根県中小企業団体中央会
- ・しまね産業振興財団（本所及び石見事務所）
- ・島根県信用保証協会（本店及び各支店）
- ・島根県（中小企業課及び 西部県民センター石見地域振興部（地域・商工・観光））

#### (2) 県が把握している状況

上記相談窓口のほか、県から事業者等に聞き取りした状況では、製造業、卸・小売業、建設業、飲食業など幅広い業種で、燃料油やナフサ関連製品の価格上昇及び調達難が生じている。

- ・包装材の仕入コストが上昇しており、今後仕入先の在庫切れにより調達が困難となることを懸念（製造業など）
- ・包装材やビニール手袋等ナフサ由来製品が入りづらくなっている（卸・小売業など）
- ・接着剤や塩ビパイプ（ポリ塩化ビニール管）の仕入れの見通しが立たない。塗料、シンナーの仕入れが不透明になっている（建設業など）
- ・焼成用燃料不足により生産量を減少。在庫は確保しており、当面の間は、影響はない（窯業）
- ・石油由来アメニティの仕入れについて、値上げを通告されている（宿泊業）

## 2. 県の対応

### (1) 国への重点要望

令和8年6月に予定している国への重点要望において、以下の内容を要望する。

要望項目：エネルギー価格等の高騰対策及び燃料油・石油製品の安定供給

要望内容：・エネルギー価格の高騰に対する負担軽減策については、エネルギーの種別に関わらず価格高騰の状況に応じて支援を継続するなど、国として責任を持って機動的に実施すること。

- ・国民の生活や事業者の経済活動に必要な燃料油・石油製品の供給が滞ることがないように、石油備蓄の放出に加えて、ペルシャ湾岸諸国からの輸入再開のためにあらゆる対策・対応を講じること。  
あわせて、原油の調達先を多角化するための取組を進めること。

### (2) 県内事業者等の状況把握

中国経済産業局をはじめとして、県内商工団体、しまね産業振興財団、信用保証協会、金融機関等と随時情報共有や意見交換を実施

## 企業立地計画の認定について ナイスビジネスサポート株式会社の立地計画の概要（新設）

ナイスビジネスサポート株式会社は、グループ内企業が行っている木造戸建住宅を中心とした建築資材の積算・見積の作成、受発注業務等の事業拡大のため、安来市内で事業所の新設を決定した。

県は、同社から申請のあった立地計画を「島根県企業立地促進条例」の目的達成に資するものとして認定し、令和8年4月28日に、ナイスビジネスサポート株式会社、安来市の間で立地に関する覚書を締結した。

### 1 会社概要

- (1) 会社名 ナイスビジネスサポート株式会社
- (2) 所在地 沖縄県那覇市松山1丁目1番19号
- (3) 代表者名 代表取締役社長 山浦 靖史（やまうら やすし）
- (4) 設立年月 平成30年6月
- (5) 資本金 10,000千円
- (6) 従業員数 82名
- (7) 事業内容 企業内シェアードサービス事業

### 2 計画の概要（県外企業の新規立地）

- (1) 立地場所 安来市荒島町1699-1（グループ企業が所有するビルに入居）
- (2) 建物面積 425.21㎡
- (3) 投下資本額 32,107千円
- (5) 操業開始 令和8年5月
- (6) 常用従業員数 

申請時	0名
操業時	3名（3名増）
操業後1年	6名（3名増）
操業後2年	11名（5名増）
操業後3年	16名（5名増）
計	（16名増）
- (7) 事業内容 グループ内企業が行っている木造戸建住宅を中心とした建築資材の積算・見積の作成、受発注業務等

#### 【県の支援見込額】

企業立地促進助成金

・雇用助成  $1,000千円 \times 16名 = 16,000千円$ （※）

（※）すべてが新卒・UIターン・異動によるUIターンの場合

## 三菱マヒンドラ農機株式会社等の農業用機械事業からの撤退に係る 取引事業者の事業継続支援について

### 1. 取引事業者の状況

#### (1) 特別相談窓口への問合せ

県内 35 機関、40 箇所に経営相談窓口を設置（各商工会議所・商工会ほか）

◆相談件数 76 件（5 月 11 日現在）

（主な相談内容）

- ・今後の受注減少を見据えた資金繰りに関する相談
- ・新たな取引先の確保や事業転換に関する相談
- ・三菱マヒンドラ農機の退職者を雇用したい企業からの相談

#### (2) 支援体制

- ・松江市や東出雲町商工会等の関係機関と連携し効率的・効果的に協力企業を支援するために、月 1 回情報交換を実施。
- ・影響を受ける取引事業者が特に多い松江市とは、商工団体等も交えて支援チームを結成し、引き続き定期的に企業訪問を行い、状況把握をしながら支援を継続。
- ・その他の市町に所在する企業についても、市町や関係支援機関と共にヒアリングなどを行いながら支援に取り組んでいる。
- ・取引事業者の状況は様々であり、補用品の受注で一時的な売上増を見込んでいるところもあれば、補用品対応は一段落したという企業もある。
- ・各社、新たな売上確保に向けて、県や市、関係支援機関と意見交換を行いながら、販路開拓や設備投資などの検討を進めている状況であるため、適切なタイミングでの支援策の活用などができるよう、きめ細かい支援を継続する。
- ・三菱マヒンドラ農機等が所有する知的財産については、県内企業が有効活用できるものがあるかどうか、同社との意見交換等をしているところである。

### 2. 資金繰り支援

#### (1) 県制度融資「セーフティネット資金（三菱農機等特別枠）」の発動（3 月 16 日）

- ・資金繰り支援のためのセーフティネット資金を発動。
- ・また、3 月 13 日に知事が金融機関に対し、事業者の事業継続に向けて県支援施策の活用を促すとともに既往債務に係る返済猶予や資金調達等への対応について、協力を要請。

#### (2) 国が特別保証制度（セーフティネット保証 2 号）の取扱を開始（5 月 1 日）

- ・4 月 13 日に知事が赤澤経済産業大臣に 100%保証かつ低信用保証料である特別保証制度を発動するよう要望。
- ・三菱マヒンドラ農機（株）等が撤退表明を行った令和 8 年 3 月 2 日から令和 9 年 3 月 1 日までを指定期間として発動。

#### (3) 県制度融資「経済変動等資金（三菱マヒンドラ農機等対応枠）」の発動（5 月 1 日）

- ・国の特別保証制度（セーフティネット保証 2 号）に対応し、同日付で既存の「セーフティネット資金（三菱農機等特別枠）」からさらに支援を強化した緊急資金を創設。
- ・資金使途に運転資金に加えて設備資金を追加し、融資限度額を 2 億 8 千万円に拡充。セーフティネット保証 2 号の認定を受けた場合さらに別枠で 2 億 8 千万円まで利用可能。

## 三菱マヒンドラ農機株式会社等の農業用機械事業からの 撤退に係る従業員の再就職支援について

### 1. 現在の求人状況（ハローワーク松江集計：5月8日時点）

事業所数 ・求人数	製造業	建設業	卸売業・ 小売業	他に分類されな いサービス業	運輸業・ 郵便業	その他
363社	103	81	57	39	26	57
1,752人	632	295	176	221	144	284

※鳥取県 14社・64人を含む

### 2. 就職支援

#### (1) 取組内容

- ・4月8日 離職に伴う制度説明会（社内会場）
- ・4月15日 産業雇用安定センター出張個別相談開始（社内会場）  
※支援登録者数 島根事務所116人（5月15日現在）  
※継続的に出張面談等を実施
- ・4月22日 ハローワーク松江出張個別相談（社内会場）
- ・4月25日 } 合同企業説明会開催（松江市内会場）  
26日 } [併設]ハローワーク松江、産業雇用安定センター出張個別相談ブース
- ・5月12日 障がい者向け合同企業説明会（社内会場）  
・松江障害者就業・生活支援センターぷらす主催  
・参加企業数 4社（製造業）

#### (2) 合同企業説明会

求職者が求人企業から直接説明を聞き、質疑ができる機会として、就職支援チーム（事務局：松江市）主催による合同企業説明会を開催

- ・開催日：4月25日（土）・26日（日）（松江市内会場）
- ・開催形式：企業がブースで会社概要、業務・求人内容等を説明。質疑応答を実施
- ・参加企業数：124社（25日 71社、26日 53社）

[業種別内訳]

製造業	建設業	卸売業・小売業	他に分類されない サービス業	運輸業・郵便業	その他
43	22	15	15	8	21

- ・参加人数：110人（ブース訪問延べ人数 1,152人）

### 3. 就職決定等の状況（5月15日時点）

- ・ハローワーク又は産業雇用安定センターの支援によるもの 2人
- ・三菱マヒンドラ農機(株)では、グループ会社及び取引先企業等への転籍・紹介の推進や面接対策、職務経歴書等の作成支援等の再就職支援を実施。  
独自の取組による就職決定人数については非公表。

### 4. 今後の予定

- ・5月22日 ハローワーク松江出張個別相談（社内会場）
- ・産業雇用安定センターによる出張個別相談等の支援の継続
- ・第2回合同企業説明会（6月下旬～7月下旬の開催を想定）  
※就職支援チームで今後具体化